

平成15年4月9日
14時00分
気象庁地震火山部

東海地域の地震・地殻活動に関する情報
(種類：解説情報)

気象庁が東海地域に設置した体積歪(たいせきひずみ)計のうち、三ヶ日(みっかび)の観測データが8日20時頃から通常と異なる変化を示し始めました。変化は現在も継続中ですが、やや鈍化の兆しも見られます。

今回の変化が、想定されている東海地震の前兆的すべりで引き起こされたとすると、三ヶ日の歪計だけでなく、周辺の歪計、傾斜計に明瞭な変化が観測されるはずですが、現在のところ、他の歪計、傾斜計等に対応する変化は観測されていません。また、東海地域の地震活動にも特段の変化は見られません。

これらのことから、今回の現象は東海地震に直ちに結びつくものではないと考えております。

(参考)

「東海地域の地震・地殻活動に関する情報」の種類とその防災対応

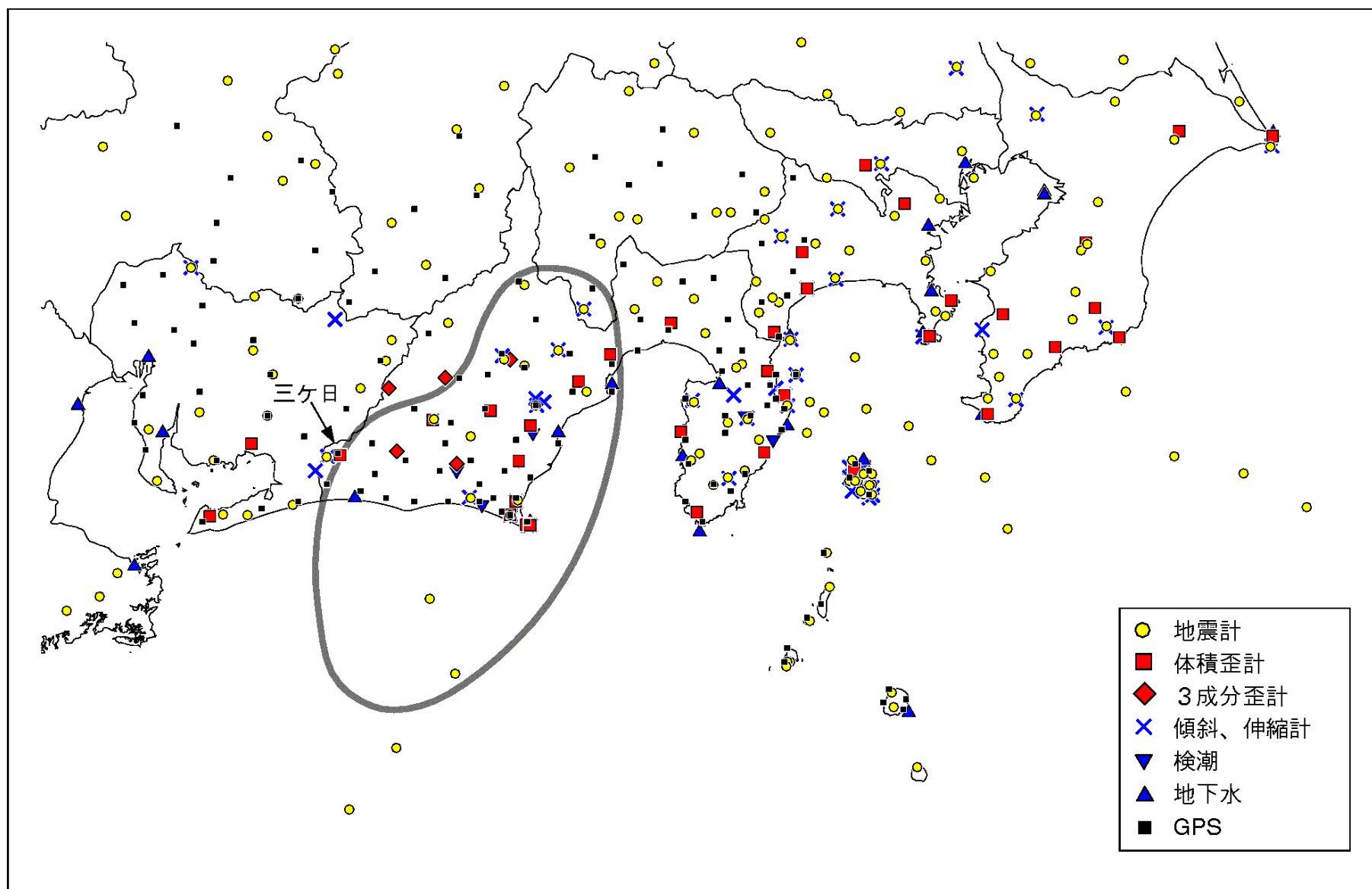
	表 題	内 容 等	防 災 対 応
種 類	解 説 情 報	気象庁として、プレート境界の前兆すべり等の東海地震の前兆現象とは直接関係しないと判断した現象および長期的な視点等から評価・解析した地震・地殻活動等に関する情報。	平常の体制とする。
	観 測 情 報	判定会招集には至っていないが、気象庁として観測データの推移を見守らなければその原因等の評価が行えない現象が発生した場合にその事実を発表する。この情報は、その原因等の評価が行えるまで、続報の発表日時を明らかにした上で、継続して情報を発表する。なお、原因等の評価が行えた場合、観測データの変化が収まり定常状態に戻ったと判断した場合には、その時点でその旨を解説情報として発表し終了する。	続報を逃さない連絡体制をとる。

(注)「東海地域の地震・地殻活動に関する情報」の発表は、原則として昼間（土、日、祝日を含む）。

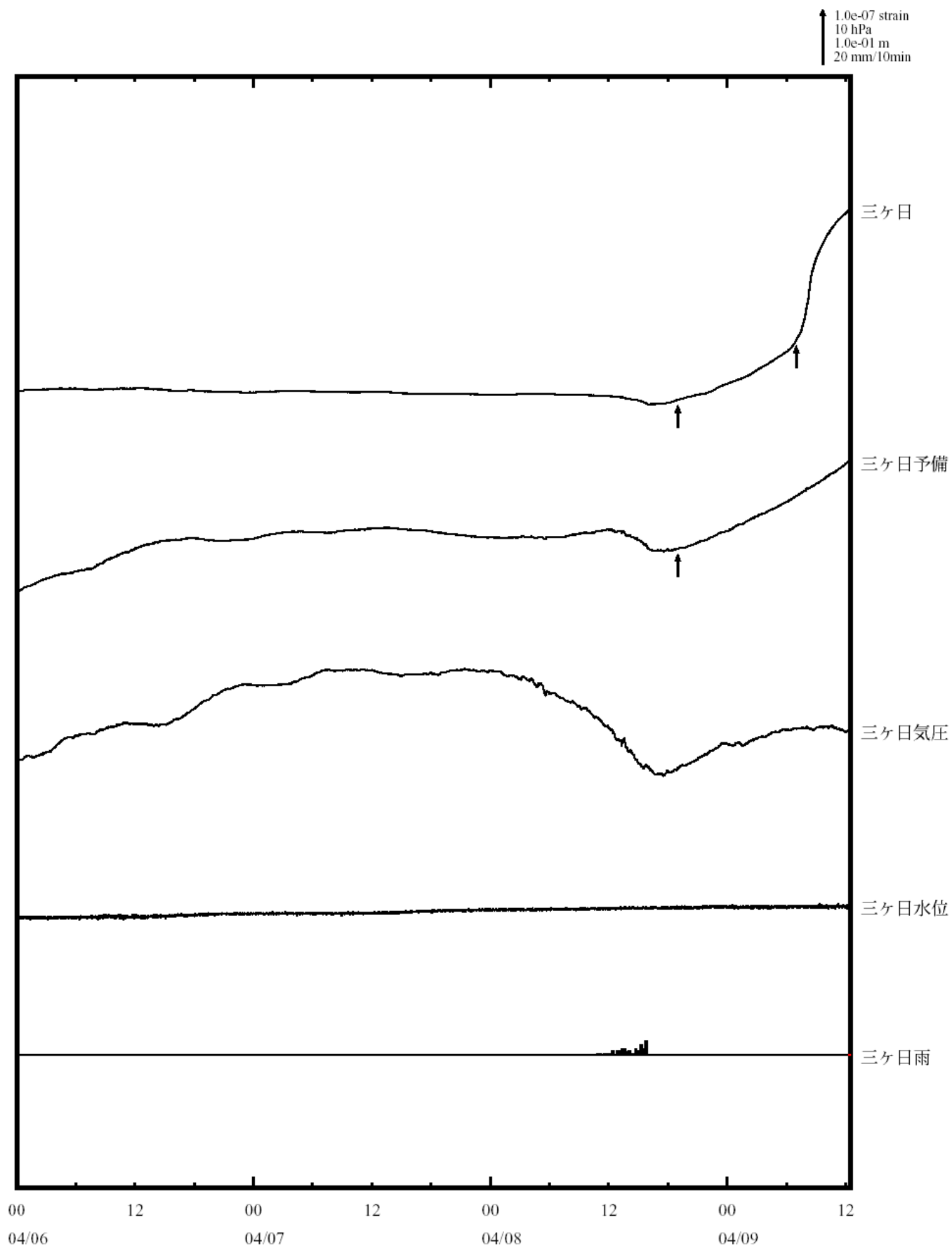
(これまでの発表実績)

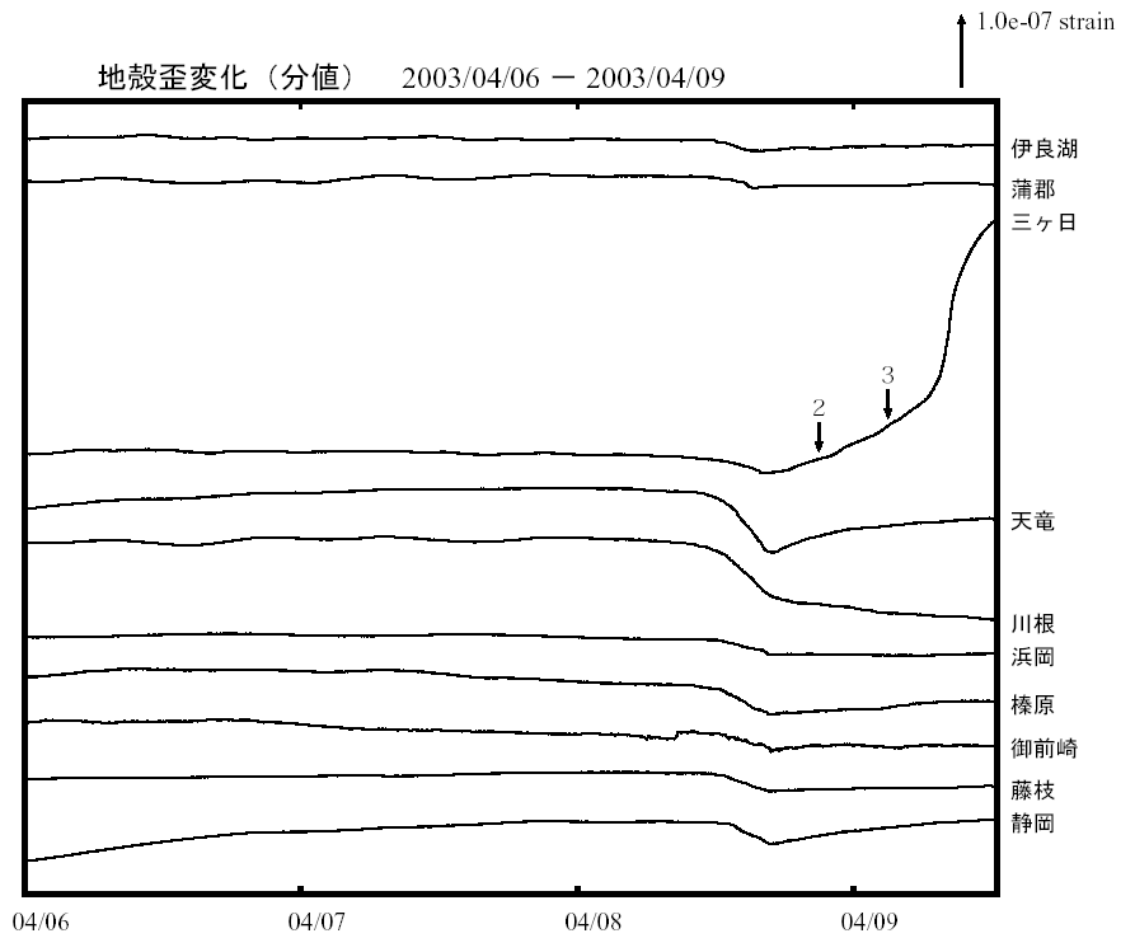
第1号	平成11年5月10日	解説情報	5月7日静岡県中部の地震解説
第2号	平成12年1月31日	解説情報	平成11年の活動総括
第3号	平成13年4月4日	解説情報	4月3日静岡県中部の地震解説

東海地域における観測体制



報道発表資料

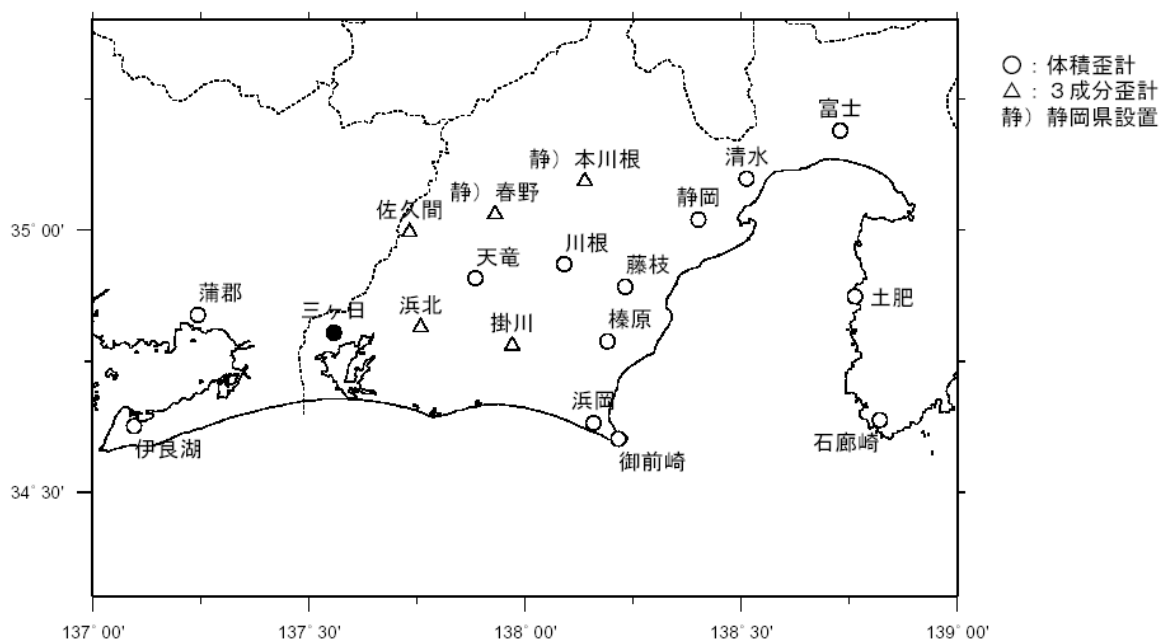




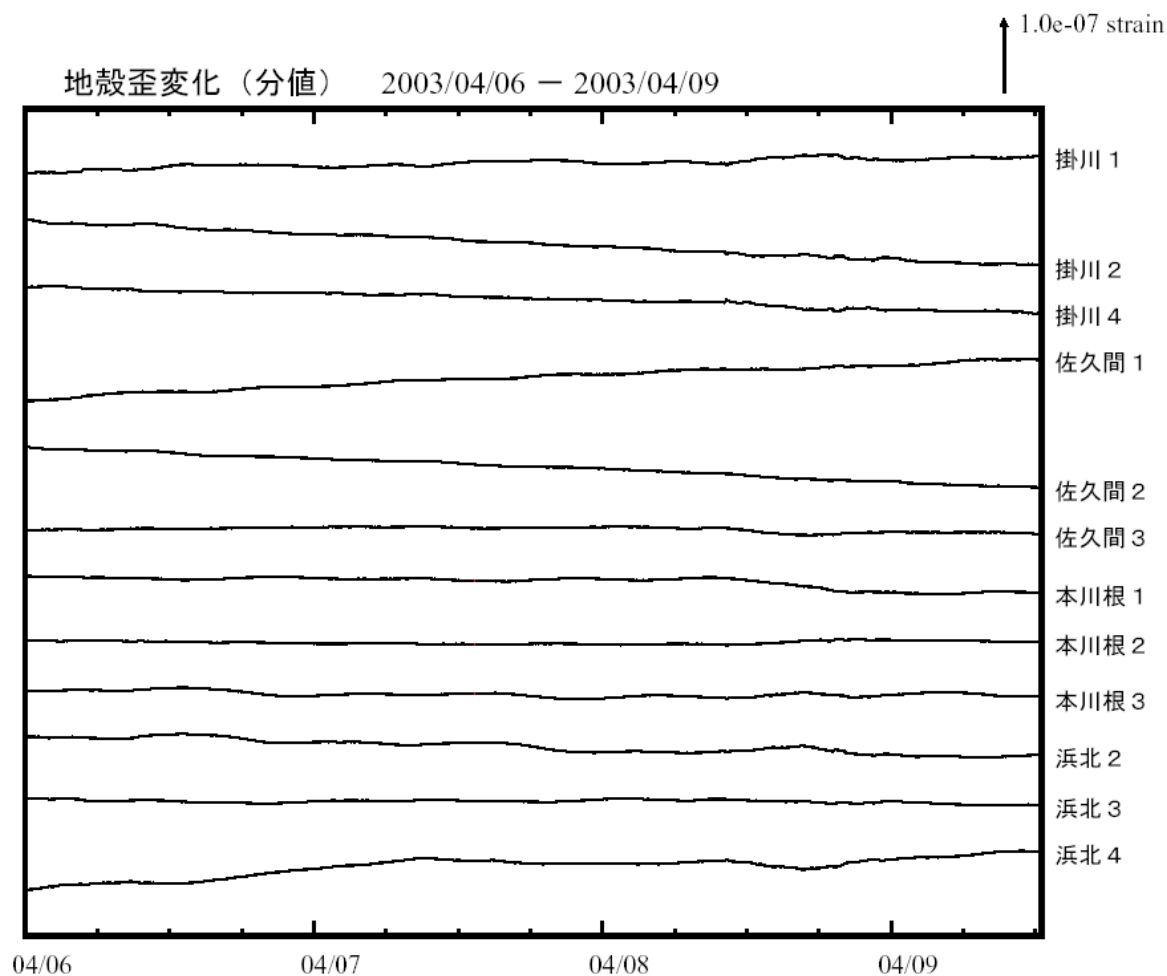
・ 図中の矢印と数字は、矢印の時刻に異常報知レベルが数字の値に変化したことを示す。（異常報知レベルは観測点ごとに設定されており、数字が大きいものほど異常の程度が高い）

東海地域の歪計配置図

（黒塗りは異常レベルの観測されている地点）

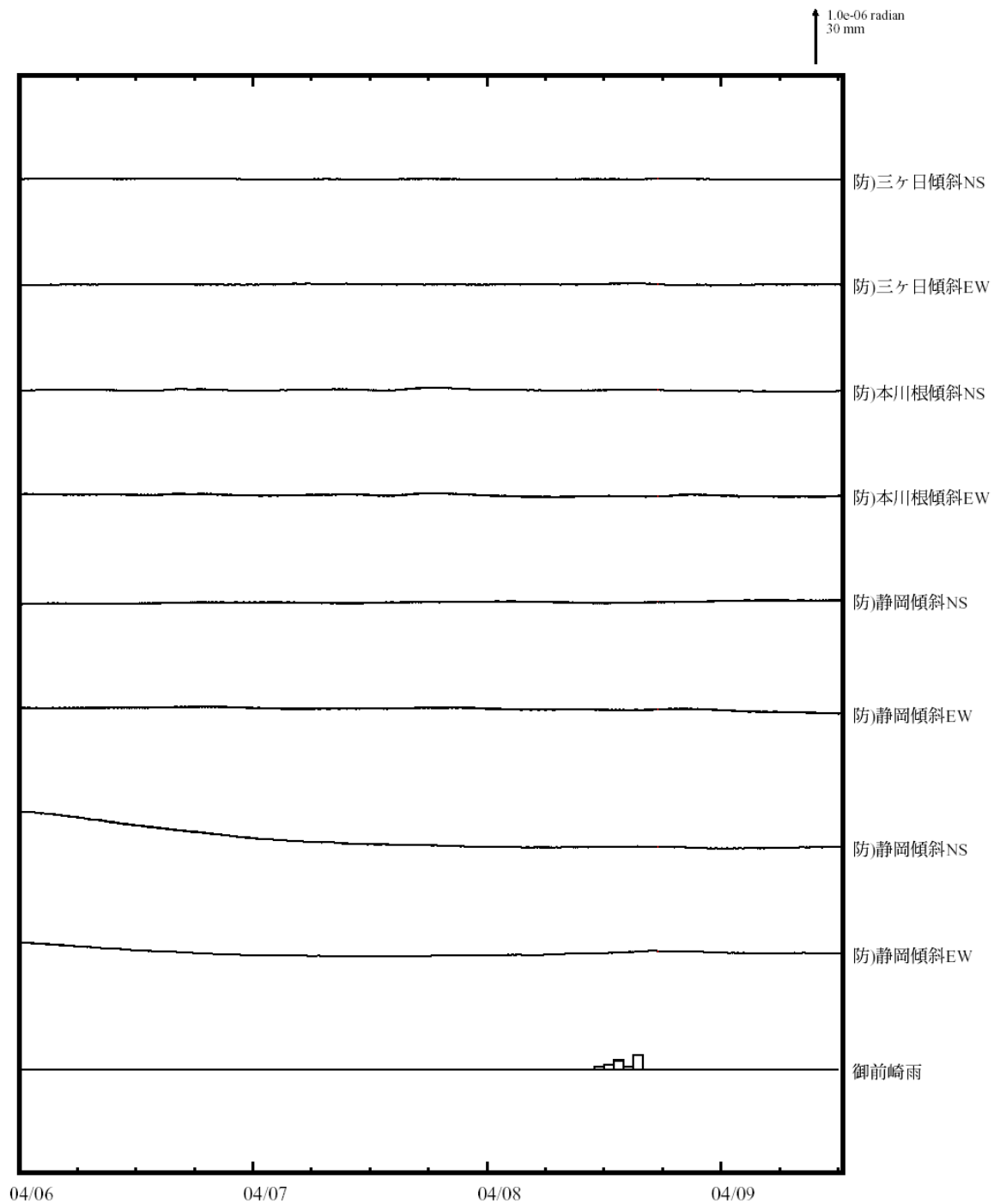


報道発表資料



・図中の矢印と数字は、矢印の時刻に異常報知レベルが数字の値に変化したことを示す。（異常報知レベルは観測点ごとに設定されており、数字が大きいものほど異常の程度が高い）

報道発表資料



報道発表資料

最近の地震活動の状況

震央分布図(Mすべて、4月1日以降)

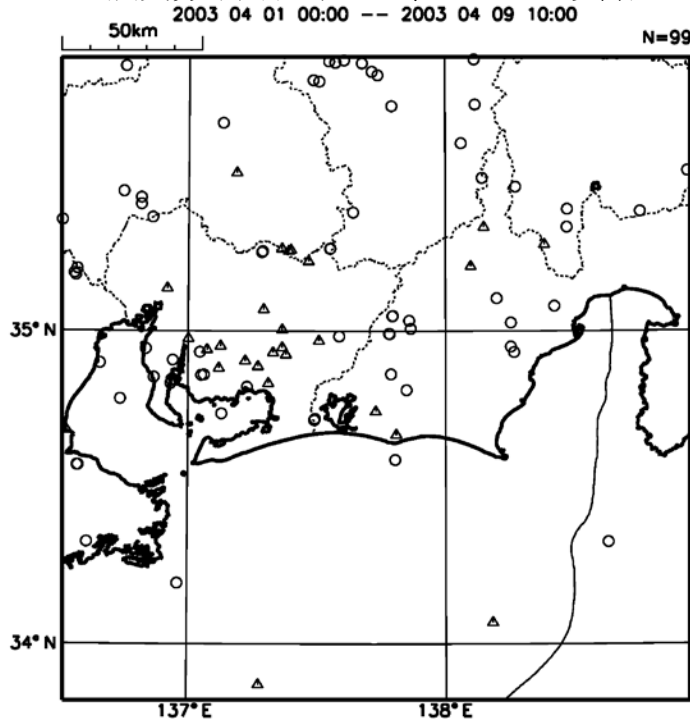
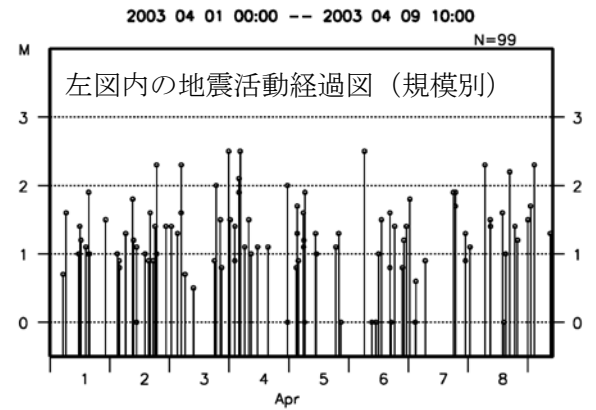


図 東海地域の地震活動
地震活動には特に変化はない。



震央分布図(M $\geq$ 1.7、1995 年以降)

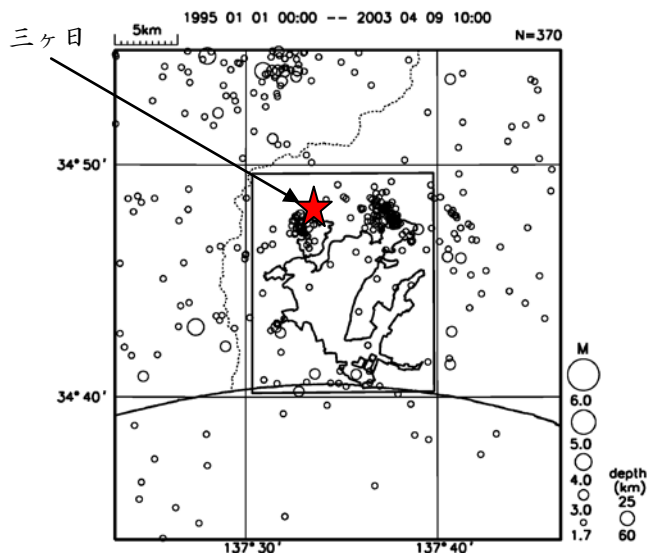


図 浜名湖付近の地震活動
(フィリピン海プレート内)
2002 年末から少ない状態が続いている。

